



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月12日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,131	147.1	87		87		88	
2022年3月期第1四半期	458	34.4	375		35		41	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.98	
2022年3月期第1四半期	5.20	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第1四半期	3,965		562		14.2	
2022年3月期	4,030		650		16.1	

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 562百万円 2022年3月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	356.0	5		5		27		3.36
通期	6,100	232.1	76		65		0		0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,550,400 株	2022年3月期	8,550,400 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	522,110 株	2022年3月期	522,110 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,028,290 株	2022年3月期1Q	8,028,290 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8
〔参考〕業態別出退店の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響が長期化に加えて、不安定な国際情勢の長期化や原材料等の物価上昇・円安の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、資源価格や原材料価格の高騰による仕入価格や水道光熱費の高騰、人材確保のための時給引き上げ等、非常に厳しい経営環境が続いております。

まん延防止等重点措置が解除後、来店客数に回復の兆しが見られつつあるものの、コロナ禍での生活習慣の変化により、居酒屋業においては制限緩和後も夜間の客足は伸びず、夜の外食需要の低迷が続いております。

このような状況の中、当社は「人・美味しさ・楽しさ」をキーワードに「地域社会からあってよかったと思っただけの心の診療所を目指す」を中期ビジョンに制定し、主要業態の八剣伝においては前期より「八剣伝再構築プロジェクト」を発足させ、2022年3月のメニュー改訂において、「焼とり全品100円(税別)」の販売を開始いたしました。八剣伝の特長である炭火焼調理のメニューを全面的に訴求すると共に中食市場へのアプローチとして、「街の焼鳥屋さん」の併設を促進する事で業態価値の向上に努めております。さらに、餃子食堂マルケンの推進においては、ランチ営業とテイクアウト・デリバリー販売の推進をはかり、新たな顧客層の獲得に取り組んでまいりました。

このような取り組みを行ってまいりましたが、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高は1,131,990千円(前年同期比147.1%増)、営業損失は87,817千円(前年同期は営業損失375,425千円)、経常損失は87,354千円(前年同期は経常損失35,361千円)、四半期純損失は88,121千円(前年同期は四半期純損失41,713千円)となりました。

【当第1四半期の業績の概況】

	前第1四半期 自 2021年4月1日 至 2021年6月30日	当第1四半期 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	458	1,131	673	147.1
営業損失(△)(百万円)	△375	△87	287	-
経常損失(△)(百万円)	△35	△87	△51	-
四半期純損失(△)(百万円)	△41	△88	△46	-
1株当たり四半期純損失(△)	△5円20銭	△10円98銭	△5円78銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2022年3月期末	当第1四半期末	増減
資 産	4,030	3,965	△65
負 債	3,380	3,402	22
純 資 産	650	562	△87
自己資本比率 (%)	16.1	14.2	△1.9

当第1四半期会計期間におきましては、主に現金及び預金68,927千円の増加、未収入金172,085千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ65,679千円減少し、3,965,098千円となりました。

負債は、主に買掛金83,204千円の増加、未払金9,555千円の減少等により、前事業年度末に比べ22,303千円増加し、3,402,952千円となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上により87,982千円減少し、562,146千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました予想に変更ありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、売上高が著しく減少し、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失並びにマイナスの営業キャッシュ・フローを前事業年度に引続き計上したことから、現時点においては継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

しかしながら、当社の当第1四半期末の現金及び預金の残高は2,457百万円であり、複数の金融機関等から資金調達を実施した後も継続した借入により当面の資金を確保しており、重要な資金繰りの懸念はありません。従って、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

尚、当該事象または状況の解消のため、コスト圧縮等の対策を実行すると共に、既存店舗に本格的な中食市場へのアプローチ「街の焼鳥屋さん」の併設、既存事業の再構築、デリバリーサービスの強化等により売上拡大と利益確保を目指してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388,898	2,457,826
売掛金	182,971	224,776
商品及び製品	25,501	29,480
原材料及び貯蔵品	29,044	28,867
未収入金	266,208	94,122
その他	57,285	63,048
貸倒引当金	△2,203	△1,727
流動資産合計	2,947,705	2,896,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,348	410,604
土地	149,366	149,366
その他(純額)	52,091	47,346
有形固定資産合計	625,805	607,316
無形固定資産	28,872	31,896
投資その他の資産		
差入保証金	373,848	373,788
その他	74,994	75,887
貸倒引当金	△20,449	△20,184
投資その他の資産合計	428,394	429,490
固定資産合計	1,083,072	1,068,704
資産合計	4,030,777	3,965,098
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,516	258,720
短期借入金	1,800,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
賞与引当金	25,795	13,087
株主優待引当金	56,004	37,728
資産除去債務	6,186	700
その他	352,127	345,470
流動負債合計	2,475,630	2,515,706
固定負債		
資産除去債務	106,893	105,507
長期借入金	415,000	400,000
その他	383,125	381,738
固定負債合計	905,018	887,245
負債合計	3,380,648	3,402,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金	1,619,390	1,619,390
利益剰余金	△2,030,078	△2,118,200
自己株式	△453,378	△453,378
株主資本合計	646,462	558,340
評価・換算差額等		

その他有価証券評価差額金	3,666	3,805
評価・換算差額等合計	3,666	3,805
純資産合計	650,128	562,146
負債純資産合計	4,030,777	3,965,098

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	458,037	1,131,990
売上原価	199,155	432,453
売上総利益	258,881	699,536
販売費及び一般管理費	634,306	787,354
営業損失(△)	△375,425	△87,817
営業外収益		
受取利息	225	134
受取配当金	251	283
受取家賃	1,763	2,588
雇用調整助成金	75,631	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	265,550	-
賃貸収入	1,504	1,434
その他	826	1,721
営業外収益合計	345,752	6,162
営業外費用		
支払利息	2,960	5,640
その他	2,727	58
営業外費用合計	5,688	5,699
経常損失(△)	△35,361	△87,354
特別利益		
固定資産売却益	952	892
資産除去債務戻入益	-	6,451
特別利益合計	952	7,344
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△34,408	△80,010
法人税等	7,304	8,111
四半期純損失(△)	△41,713	△88,121

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、2022年6月25日開催の第50回定時株主総会に資本金の額の減少について付議することを決議し、同株主総会において承認され、2022年7月1日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性および機動性の確保を目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。なお、本件による発行済株式総数および純資産額の変更はありません。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少すべき資本金

資本金の額1,510,530,000円を1,410,530,000円減少して、100,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の要領

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 資本金の額の減少の日程

(1) 取締役会決議日	2022年5月13日
(2) 債権者異議申述公告日	2022年5月31日
(3) 定時株主総会決議日	2022年6月25日
(4) 債権者異議申述最終期日	2022年6月30日
(5) 減資の効力発生日	2022年7月1日

3. 補足情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度					当第1四半期				
		自 2021年4月1日					自 2022年4月1日				
		至 2022年3月31日					至 2022年6月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔 虎 伝	5	3	-	8	3	8	-	1	7	△1
	八 剣 伝	49	1	1	49	-	49	-	1	48	△1
	居 心 伝	6	-	1	5	△1	5	-	-	5	-
	串 ま ん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八 右 衛 門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	7	-	3	4	△3	4	-	-	4	-
	マ ル ケ ン	25	4	1	28	3	28	-	-	28	-
	そ の 他	4	2	-	6	2	6	-	-	6	-
	小 計	101	10	6	105	4	105	-	2	103	△2
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	10	-	-	10	-	10	-	-	10	-
	八 剣 伝	228	2	15	215	△13	215	1	2	214	△1
	居 心 伝	7	1	2	6	△1	6	-	-	6	-
	そ の 他	16	-	2	14	△2	14	-	-	14	-
	小 計	261	3	19	245	△16	245	1	2	244	△1
合 計	362	13	25	350	△12	350	1	4	347	△3	